

平成18年2月28日



日本スーパーマーケット協会

## 平成18年1月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

## 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	36,140,144 万円	100.0%	101.1%(103.2%)	34,324,046 万円	98.3%(100.1%)
食 料 品	28,282,464 万円	78.3%(77.8%)	102.0%(102.6%)	26,750,779 万円	98.8%( 99.1%)
農 産	4,000,059 万円	11.1%(10.1%)	102.4%( 99.2%)	3,782,691 万円	98.9%( 95.8%)
水 産	3,504,935 万円	9.7%( 9.7%)	102.3%(103.0%)	3,313,028 万円	98.9%( 99.5%)
畜 産	3,275,071 万円	9.1%( 9.2%)	101.6%(105.9%)	3,093,184 万円	98.2%(101.8%)
惣 菜	2,891,006 万円	8.0%( 7.7%)	105.3%(104.7%)	2,715,840 万円	101.4%(100.4%)
日配食品	6,346,598 万円	17.6%(17.2%)	101.0%(101.7%)	6,002,534 万円	98.0%( 98.2%)
加工食品	8,264,795 万円	22.9%(23.9%)	101.5%(102.6%)	7,843,502 万円	98.5%( 99.6%)
生活関連	3,221,239 万円	8.9%( 9.2%)	98.0%(101.9%)	3,059,557 万円	96.8%( 99.6%)
衣 料 品	2,314,258 万円	6.4%( 6.6%)	94.8%(114.0%)	2,265,344 万円	94.4%(113.2%)
そ の 他	2,322,183 万円	6.4%( 6.4%)	101.0%(102.6%)	2,248,366 万円	98.6%(100.3%)

## 数 値

全店総売上高	36,140,144 万円	店 舗 数	3,492 店舗
総売場面積	6,026,679.8 m <sup>2</sup>	総従業員数	175,819 人

店舗平均月商	10,349.4 万円	平均客単価	1,957.2 円
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.0 万円( 6.9 万円)	平均店舗面積	1,725.9 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	19.8 万円(22.7 万円)	パート比率(前月)	76.1%( 75.6%)

注) 総従業員数...パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 全体概況

- ・ 12月に続き気温が低く、鍋物商材が好調に推移した。しかし中旬から気温の変動が非常に激しくなり、売上也伸び悩み、全体の売上也昨年に届かなかった
- ・ 年始から上旬にかけて全国的に雪が多く、客数だけでなく、物流、店舗運営などにも大きく影響を与えた
- ・ 大手を中心に元旦営業が定着してきたことから、2日、3日の売上が伸び悩んでおり、単価も下落している

## 商品動向

### 農産

- ・ 野菜は、これまでの安値から一転して相場が高騰したため、割高感が強く伸び悩んだ
- ・ 果物は、主力のみかんが依然として安値で推移しており、数量は売れるものの、売上は昨年を割る結果となった

### 水産

- ・ タラなどの鍋物商材は引き続き好調であった。また、ブリも相場が安定しており好調に推移した
- ・ 刺身・鍋物商材などの売上は上昇傾向にあるが、塩干の売上が伸び悩んでいる

### 畜産

- ・ 牛肉・鶏肉ともに相場が高く、売上也伸び悩んだ。豚肉は堅調に推移したが全体的には昨を下回った

## 惣菜

- ・ 年始はにぎり寿司が好調に推移したが、中旬はやや伸び悩み、代わって巻き寿司が売上を伸ばした

## 日配・加工食品

- ・ 日配食品は、低温によりおでん種などの鍋物商材が好調であった
- ・ 野菜の相場の高騰により、浅漬けなどの漬物が好調に推移した。しかしキムチは依然として低迷している
- ・ 牛乳の売上低迷が続いている。価格競争の激化により、単価が大きく下落していることが原因にあげられている
- ・ 加工食品は、低温により、鍋つゆ・シチュー・スープ・インスタントラーメンなどが好調に推移した
- ・ 年末年始ともアルコールが全般的に好調であった。特に日本酒・スパークリングワインが好調に推移した

## その他

- ~ 正月商戦について
- ・ 雨・雪が降るなど、全国的に天候が厳しく、売上は全般的に伸び悩んだ
- ・ 寿司は簡便性もあり、好調な売上となった。特に上にぎりなど高単価商品の売上が好調であった
- ・ すき焼き用などは、点数は伸びたものの単価は下落している。正月営業が定着していることから、当日の必要量のみを購入されていることがうかがえる
- ・ 餅は、気温が下がったこともあり全般的に好調に推移した。特に切り餅が好調であった
- ・ 大手を中心に元旦営業が定着しており、2日の売上が伸び悩んでいる
- ・ 3日ぐらいから通常の消費動向に戻る、という声が多く、徐々に正月マーケットの期間が短くなっている、という声が多い

～成人の日の動向について

- ・ 寿司・刺身は高単価商品を中心に好調に売れているが、その他の商品は単価の下落が進んでいる
- ・ 気温が低かったこともあり、ステーキよりもすき焼き用などの売上が好調であった
- ・ 成人の日、というよりも通常の三連休に近い売上動向になっている、という声が多く聞かれる
- ・ 三連休になったことから、以前のように売上の山がなく、売上が分散する傾向にある
- ・ 高単価の寿司・刺身、小型のオードブルセット、レトルトの赤飯が好調であるなど、全体的に形式化し簡便化・少量化が進んでいると思われる

～低温・大雪について

- ・ 全部門共通して鍋物商材・ホットメニューの売上が非常に良い
- ・ アルコールでは日本酒・焼酎など好調に推移している
- ・ 反面、アイス・飲料・サラダ商材などの売上は低調であった
- ・ 低温・大雪の影響により野菜の相場が高騰し、売上、利益、商品確保に非常に苦慮した
- ・ その他大雪の影響により、遅配・商品不足・営業時間の短縮など多方面に大きな影響を与えた
- ・ 特に北日本、北陸においては大規模な停電が発生するなど、非常に大きな影響を受けた

～節分の動向について 速報

- ・ 恵方巻が昨比100～120%と、年々売上を伸ばしている。関東や北日本においても定着してきている
- ・ 豆類も概ね好調な売れ行きとなっている。特に100円前後の低単価商品の売れ行きが良い
- ・ いわしは平年並みか、若干下回る売上となっている。生いわしは比較的好調な売上となった
- ・ そば・和菓子などの節分関連商品の売上も概ね好調な売上となっている。コンビニ各社の販促などにより、マーケット自体が大きくなっている、との声も聞かれる

